

豊見城市コロナワクチン対策事業において対象となる全市民への早急なワクチン接種完了を目指し、あらゆる策を講じ早期に改善を求める決議

6月13日付沖縄タイムス紙の報道において、豊見城市のコロナワクチン接種率が沖縄県内最下位であることが明らかになった。それに伴い、コールセンターの電話やインターネットに繋がりにくい等ワクチン接種予約の取りづらさを感じている市民からは「いつになったら自分の番が来るのか不安だ」「いったいどうなっているのか」という不安の声が寄せられている。

コロナワクチン接種事業は新型コロナウイルス感染拡大から市民の命を守り、安心安全を確保するため何よりも重要且つ早急な対応が求められる。

以上のことから、本市のコロナワクチン接種を円滑に行うため、次の事項について早急な対策を講じる事を強く求める。

記

1. 今後、対象となる全ての市民のワクチン接種予約を円滑に行えるよう LINE を活用したワクチン接種予約を早急に開始し、さらに、インターネット操作が不慣れな方の為に代行予約体制を整え、市民の不安解消に努めること。
2. ワクチン接種に関するスケジュール、その他市民が知るべき情報を随時最新のものに更新し、ホームページ、LINE、自治会放送、防災無線等で迅速に発信すること。
3. 接種会場に車椅子を十分に用意し、高齢者や障がい者へは負担が少ない方法（高速大名行列方式等）で対応すること。
4. 県の広域集団接種も率先して活用し、交通手段の無い方へ県の広域集団接種会場等への大型バスやタクシーなどの移動に対し市で助成をすること。
5. 夜間ワクチン接種を行い、就労している市民が利用しやすいようにすること。
6. 個別接種が出来る体制を早急に構築するため、個別接種に応じた病院等に対して助成等のインセンティブを創設するなど、個別接種が加速する仕組みづくりを行うこと。
7. ワクチン接種事業に携わる職員やボランティアスタッフへの先行接種を行うこと。
8. 乳幼児や児童生徒と関わる保育園・学童保育や児童デイサービス・小中学校教職員等のエッセンシャルワーカーに対し優先接種を行うこと。
9. 64歳以下の方へ接種券を早期に配布すること。
10. コロナワクチン対策を重視しつつ、通常業務を疎かにせず、市民サービスに影響を与えないようにすること。

令和3年6月18日

豊見城市議会

改善を求める決議 あて先 豊見城市長